

『税について思うこと』

練馬区立光が丘第二中学校 第3学年 土田 ののか

私は、昨年学校の行事の職場体験で税務署の仕事を経験しました。体験にいく前は何も税金のことについて知らなかったけれど、職員の方にたくさんのお話を教えてもらい、最終日には税金の知識について自信をもてるほどまで成長しました。その中でも特に印象に残っていることが二つあります。

一つ目は、住民税についてです。私は名前は聞いたことがあったけれど、どのような税なのかは知りませんでした。高齢者支援や子育て支援などに使われるというのは、現在少子高齢化や待機児童の増加が進んでいるのでとても良い使い道だと思いました。一方、支払いの額が収入や住んでいる地域によって変わるといのは、一見平等そうにみえるけれどよく考えてみると平等では無いのかと思います。なぜなら、せっかく多くの収入を得るために頑張った人が収入が多い、良いところに住んでいるという理由で高い税金を支払わなくてはいけないのは少しかわいそうだと思うからです。

二つ目は、確定申告についてです。これについては、初めて聞く言葉でした。確定申告期は、税務署の外にまで人がならぶほど混雑すると聞いてとてもおどろきました。なぜなら、私の想像の中では税務署という場所は、人々にとつてあまり身近な場所ではないと思っていたからです。混雑してしまう原因として確定申告の期間が短いこと他に、確定申告がネットからでもできるということがあるくらい知られていないということもあるのかなと思いました。もちろん、わからない時には直接税務署に行くのが良いと思うけれど、書きに行くだけならネットで申告するのも一つの手だと思います。私は実際に、確定申告の書き方を教えてもらいました。少し難しかったけれど、大人になる前にこのような貴重な体験ができてとてもうれしかったです。

この二つの他にもたくさんのお話について学ばせてもらいました。私が一番「税金」で大切だと思うのは、使い道だと思います。税金がどのような所で使われ、結果的にそれが私たちにとつてどのような利点となるのかということを具体的に知らなければ、税金に対して悪いイメージをもってしまふと思います。私も具体的な使い道を知るまでは、税金によってつくられた場所や物は、自分に直接関係が無いと思っていました。しかし、知った後には、「税金」の重要さや大切に使われていることを実感し、税金でつくられた場所や物などを見ると、大切に使うという気持ちや自分も貢献者の一員になれているかということうれしい気持ちが強まりました。

私は税務署を税理士の仕事に興味があるという理由で選んだけれど、税金の在り方に興味をもつきっかけにもなったので税務署を経験できて良かったです。私が大人になって働く時に税金について困らないよう、今からさらに税についての知識を蓄えていきたいです。